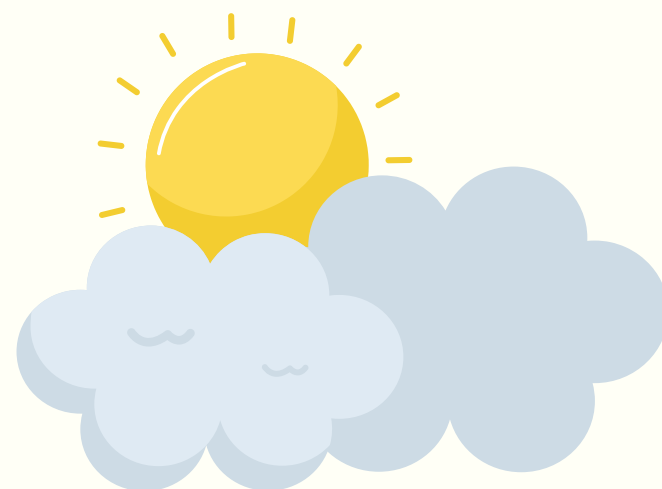




ゼロエミッションを実現する会・牛久

いまココ会議2025

建築物省エネ法の 省エネ促進区域設定 に関する請願





ゼロエミッションを実現する会・牛久

自己紹介

- ・ゼロエミッションを実現する会・牛久
- ・クライメートリアリティプロジェクト・リーダー
- ・ドイツ系IT企業 勤務



■2023年夏、東京港区から茨城県牛久市に引っこしました。

- ・牛久のおうちでやってみたこと
- ・ゼロエミッションをめざした家づくり
- ・太陽光パネルとオール電化
- ・夜や曇りの日は電気はハチドリ電力さん(100%再エネ提供)
- ・電気自動車とV2H（電気自動車用 充電器）
- ・断熱
- ・家庭菜園



元野犬のうちの息子たち





ゼロエミッションを実現する会・牛久

ゼロエミ牛久の これまでの取り組み

市長へ手紙を送付
→ ありきたりな返事がきた
(おそらく環境政策課が代筆)

Instagram、
Facebook
もオープン

市民向け気候変動勉強会
「SDGs Café」開催
毎回2-3名の議員が参加

ローカルYouTubeチャンネル
「ちゃんみおTV」に出演

請願2つ目
「省エネ促進区域設定」

茨城県庁へ断熱改
修の署名提出

請願1つ目
「2030年削減目標33%からの
早期引き上げ検討」

2023/7月
牛久市へ引っ越し

「ゼロエミッションを実現す
る会・牛久」立ち上げ

2024/1月

11月

4月

5月

6月

8月

9月

2025年3月

9月



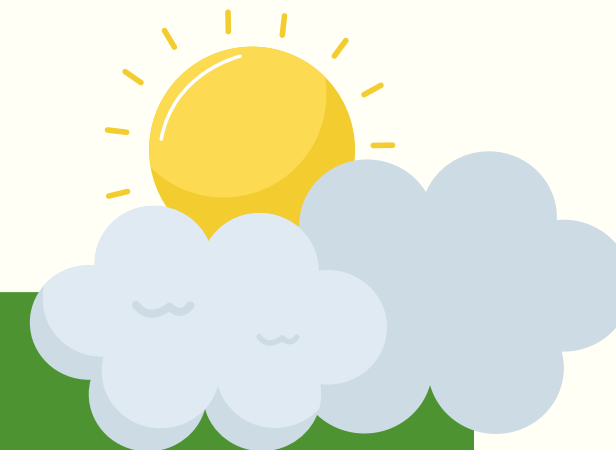


ゼロエミッションを実現する会・牛久

ゼロエミ牛久からの2つ目の請願 「省エネ促進区域設定に関する 請願」

3月12日 環境委員会 不採択 賛成2名 反対4名

3月24日 本委員会 採択 賛成14名 反対7名



事前の根回し活動の時間が
ほとんどなかった

- 1月後半： 請願を決意。
出澤議員（紹介議員）に相談
- 2月20日： 議会に提出
- 3月6日： 環境委員長に事前ブリーフィングのため面談
- 3月9日： 出澤議員と事前すりあわせ





ゼロエミッションを実現する会・牛久



3月12日の環境建設委員会では不採択

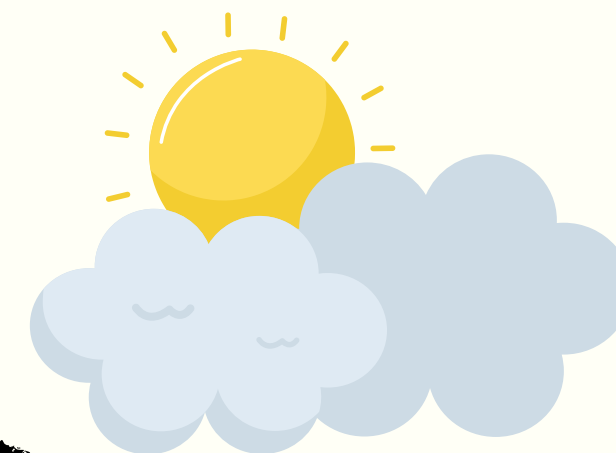
反対4 賛成2

当日の状況

- 傍聴として参加。私にはプレゼンの機会は却下されたため。
理由は、「前回（2024年の初の請願のこと）来た人と同じだろう」とのこと。委員会中、発言はみとめられず。
- 出澤議員が代わりに5分ほどでパワポ資料（私が作成）をベースに説明をいただいた
- 質問はゼロ



ゼロエミッションを実現する会・牛久



不採択で終わった委員会後、くやしかったこと

委員会では、質問も何もなく、2対4で不採択。言い捨てられてお部屋に入ってしまった

反対の理由は
なんですか？

質問もされず、資料も
開いていなかったです
よね？

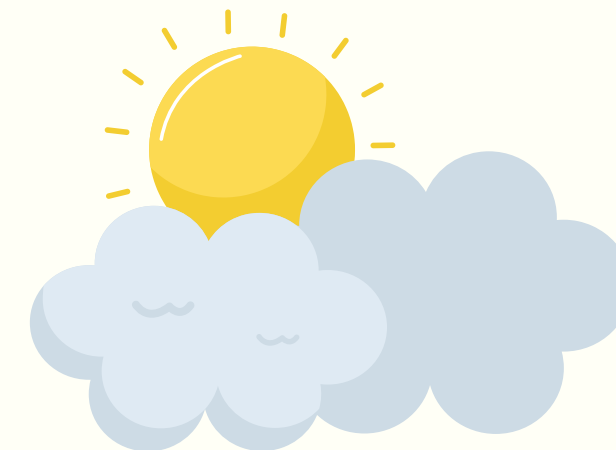


時期尚早！！

否決されたことに理
由なんてない。聞くのは
そんなこと聞くな
やめたまえ



ゼロエミッションを実現する会・牛久



不採択で終わった委員会後、よかったこと

委員長が個別に1時間ほど時間を割いてFeedbackをくださいました

3/6に事前にこの制度の話を聞いて、いい制度だと理解した。
なのに、**なぜ茨城県でどこもやっていないのだろう**と疑問にも思っ
たので、周りの3~4つの自治体(守谷や阿見町など)に「なぜやって
ないのか」「今後やる予定あるか」をヒアリングしてみた。
結果どこも「やる予定はない」という回答だった。

その理由をかんがえてみたんだ





ゼロエミッションを実現する会・牛久

委員長の持論

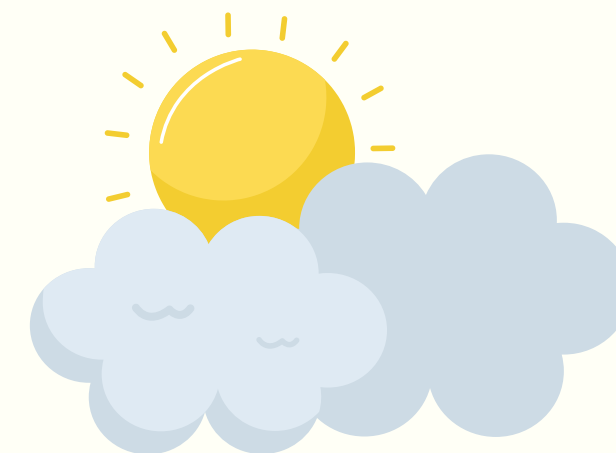
茨城県内で、建蔽率および高さをMaxで建設している建築物は、**ほぼゼロ**だとこの自治体も思っている

ぼくも調べたわけではないが、おそらく**事実だと感じる**

国からの**指導がない**、という理解。指導が入ってから動いたほうが国からの助成金なども出ると他の自治体も考えているみたい。**早く動くメリットを感じない。**

高さや狭い土地でMaxで建築している東京や横浜などの**大都市とは事情が異なる**

この施策から**恩恵を受けられるケースはないのではと思う**





ゼロエミッションを実現する会・牛久



委員長のFeedbackをゼロエミの定例で相談してみた

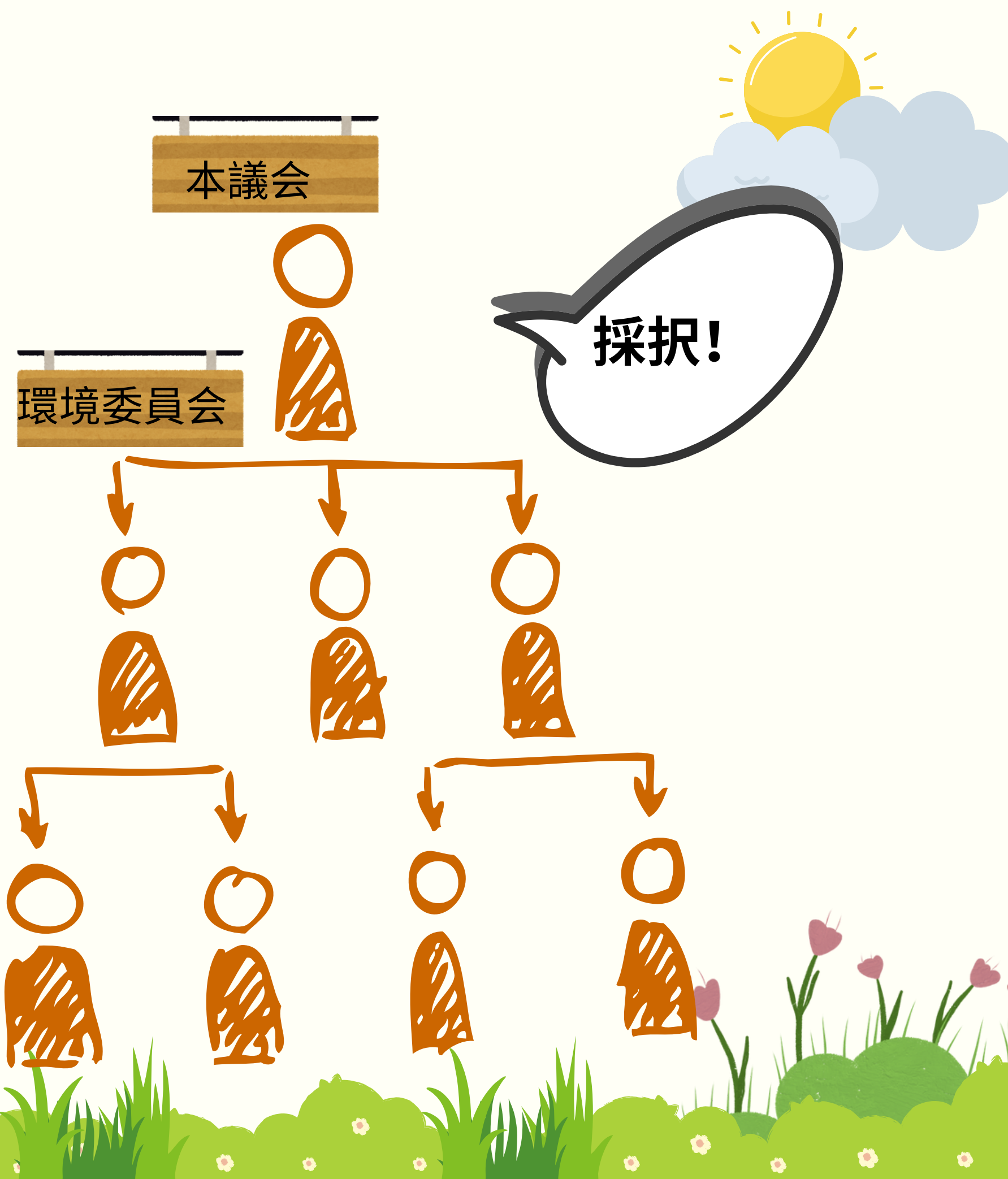
- 茨城県内で、建蔽率および高さをMaxで建設している建築物は、**ほぼゼロ**だとどの自治体も思っている。
→Google Mapでみると、商業施設などの駐車場、大きな建築物の屋根、ホワイトスペースたくさんあった。
- 国からの指導がない**、という理解。指導が入ってから動いたほうが国からの助成金なども出ると他の自治体も考えているみたい。**早く動くメリットを感じない**。
→国からのガイドラインもでているし、国から自治体に「努力義務」として課している。
- この施策から**恩恵を受けられるケースはないのではと思う**
→Google Mapでみると、住宅の中には建蔽率MAXで建てたためカーポートを諦めたように見える住宅もたくさんある。ソーラーパネル搭載のカーポートであれば可能になるので、恩恵をうける市民はいる



ゼロエミッションを実現する会・牛久

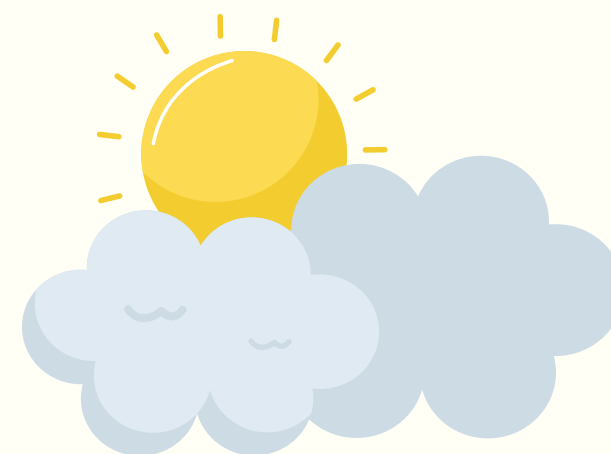
3月24日の本委員会では採択

賛成14 反対7





ゼロエミッションを実現する会・牛久



施策はまだ完了していない。

紹介議員のサポートをいただきながら、完了まで見届けていきたい





ゼロエミッションを実現する会・牛久



Thank You So Much!

Powering the Future Sustainably

